



2024年8月8日

各位

会社名 株式会社ヨコオ
代表者名 代表取締役兼執行役員社長 徳間孝之
(コード番号 6800 東証プライム市場)
問合せ先 執行役員 SCI 本部長 多賀谷敏久
(TEL 03-3916-3111)

営業外収益（為替差益）の計上並びに連結業績予想の修正に関するお知らせ

2025年3月期第1四半期連結累計期間における営業外収益（為替差益）の計上並びに2024年5月14日に公表しました2025年3月期第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきまして、下記のとおり修正いたしますので、お知らせいたします。

記

1. 営業外収益（為替差益）の計上

当第1四半期連結累計期間（2024年4月1日から2024年6月30日まで）において、急激な為替相場の変動により、為替差益967百万円を営業外収益に計上いたしました。

なお、上記の金額は、当社グループが保有する外貨建て債権・債務の決済及び期末為替レートによる評価替えで発生したものであり、今後の為替相場の状況により変動いたします。

2. 業績予想修正の内容

(1) 第2四半期連結累計期間（2024年4月1日～9月30日）

	前回発表予想 (A) (2024年5月14日 公表)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	(ご参考) 前年同四半期累計実績 (2023年4月1日～9月30日)
売上高 (百万円)	40,000	40,000	—	—	36,794
VCCS	27,700	27,700	—	—	26,491
CTC	7,500	7,200	△300	△4.0	6,188
FC・MD	4,650	4,950	+300	+6.5	3,903
インキュベーション センター	150	150	—	—	207
その他・調整額	—	—	—	—	4
営業利益 (百万円)	1,800	1,800	—	—	△120
VCCS	1,700	1,300	△400	△23.5	717
CTC	250	650	+400	+160.0	△461
FC・MD	300	300	—	—	△46
インキュベーション センター	△450	△450	—	—	△337
その他・調整額	—	—	—	—	7
経常利益 (百万円)	1,000	1,150	+150	+15.0	1,701
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (百万円)	650	750	+100	+15.4	958
1株当たり四半期純利益 (円 銭)	27.88	32.17	—	—	41.13

(2) 通期 (2024年4月1日～2025年3月31日)

	前回発表予想 (A) (2024年5月14日 公表)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	(ご参考) 前期実績 (2024年3月期)
売上高 (百万円)	81,150	80,000	△1,150	△1.4	76,895
VCCS	55,650	55,100	△550	△1.0	55,583
CTC	15,500	14,800	△700	△4.5	12,585
FC・MD	9,650	9,800	+150	+1.6	8,373
インキュベーション センター	350	300	△50	△14.3	345
その他・調整額	—	—	—	—	7
営業利益 (百万円)	4,550	4,100	△450	△9.9	1,617
VCCS	3,450	3,050	△400	△11.6	3,100
CTC	1,200	1,200	—	—	△794
FC・MD	700	650	△50	△7.1	117
インキュベーション センター	△800	△800	—	—	△811
その他・調整額	—	—	—	—	6
経常利益 (百万円)	3,750	3,000	△750	△20.0	3,710
親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	2,500	2,000	△500	△20.0	1,511
1株当たり当期純利益 (円 銭)	107.25	85.80	—	—	64.86

3. 修正の理由

(1) 第2四半期連結累計期間 (2024年4月1日～9月30日)

売上高につきましては、当第1四半期連結累計期間の実績及び直近の受注見通しを踏まえ、上表のとおりセグメント別売上高の内訳を修正いたします。

営業利益につきましては、VCCSセグメントにおける一部顧客の生産調整の影響による減益が見込まれる一方、CTCセグメントにおける製品ミックス良化による増益を見込み、上表のとおりセグメント別利益の内訳を修正いたします。

経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、想定為替レート1米ドル=145円の下、為替差損650百万円を見込み、上表のとおり修正いたします。

(2) 通期 (2024年4月1日～2025年3月31日)

売上高につきましては、想定為替レートを1米ドル=140円 (前回予想時は1米ドル=145円) と円高方向に見直したことに伴う減収影響及び各セグメントの受注見通しを踏まえ、上表のとおり修正いたします。

営業利益につきましては、VCCSセグメントにおける一部顧客の生産調整の影響による減益、CTCセグメントの下期における国内生産比率上昇による利益率鈍化、CTC及びFC・MDの両セグメントにおける想定為替レート見直しによる減収に伴う減益が見込まれることから、上表のとおり修正いたします。

経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、想定為替レート1米ドル=140円の下、為替差損1,100百万円を見込み、上表のとおり修正いたします。

4. 予想の前提となる条件等

2025年3月期の業績見通しにつきましては、予想の前提となる条件を次のとおり想定しております。

- 当社の主要市場である自動車市場につきましては、一部顧客の生産調整を見込み、今年度中は継続するものと想定しております。
- 半導体検査市場につきましては、2023年3月期下期以降の半導体市場の落ち込みに底打ち感が出てきたことに加えて、生成AI関連の半導体検査需要が引き続き拡大するものと想定しております。
- 携帯通信端末市場につきましては、POS 端末など電子機器端末向けの需要が、過剰在庫の解消に伴い緩やかに回復するものと想定しております。
- 先端医療機器市場につきましては、カテーテル等を用いた低侵襲医療への需要が順調に伸長するものと想定しております。
- MaaS/IoT 市場につきましては、モビリティの進展や IoT の普及に伴い、順調に成長するものと想定しております。
- 業績予想の前提となる為替レートを、本年8月以降9月末までを1米ドル=145円(前回予想時と同じ)とし、本年10月以降当期末までを1米ドル=140円(前回予想時は1米ドル=145円)としております。

(注) 本資料に記載の予想数値は、公表日現在入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上